



わくわく図書館

中央図書館 ☎63-3359
 火～金曜日9時～19時
 土・日曜日、祝日は18時まで
 江釣子図書館 ☎77-2215
 和賀図書館 ☎72-8307
 ◆休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、
 祝日(江釣子・和賀図書館のみ)
 12月28日～1月4日、特別整理期間



おすすめ新着本

<http://www.library-kitakami.jp/>

『スキマワラシ』

恩田 陸／著
集英社

小道具店を営む兄と、古い物に秘められた記憶が見える弟。ある日二人は、古いビルの解体現場で目撃された少女の噂を耳にする。再開発予定の地方都市を舞台にした、ファンタジックミステリー。



『5分後に君とまた会えるラスト』

エブリスタ／編
河出書房新社

あの時、あんな別れ方をしなければ…。小説投稿サイト「エブリスタ」に集まった10万作超の中から選ばれた、忘れられない思いと再会を描いた感動の短編集。読後、あなたも特別な誰かに会いたくなる。



図書館インフォメーション

図書館アンケートにご協力ください

図書館に関するアンケートを実施します。アンケート用紙と回収箱を中央図書館、江釣子図書館、和賀図書館、各地区交流センターに設置します。図書館のwebアンケートからでも回答できます。



アンケート
回答先

■アンケート期間…10月1日(木)～21日(水)

秋の古本市の開催中止

毎年11月に開催している秋の古本市の開催を見合わせます。不要本の募集は行いません。

次回は令和3年5月の開催を予定しています。

■問い合わせ…北上読書連絡会(武埜) ☎090-4314-7561

※図書館システム更新作業に伴い、全館と自動車文庫「ともしび号」は9月30日(水)まで休館します。期間中は、当館のホームページの閲覧、Webサービスなども停止になります。ご了承ください。

新着本

大人向け
 アウア・エイジ
 お父さんはユーチューバー
 まんがでわかるカミュ「ペスト」
 やまゆり園事件
 枝元なほみのリアル朝ごはん

岡本 学
 浜口 倫太郎
 小川 仁志
 神奈川新聞取材班
 枝元 なほみ

子ども向け
 ひらがなよんで！
 数字でわかる！ぎょうてんな日本の歴史
 感染爆発 見えざる敵=ウイルスに挑む
 ディズニーわくわく迷路ブック
 やばいことわざ

きのした けい
 本郷 和人
 デイビッド・ゲッツ
 ブティック社
 齋藤 孝



きたかみの お宝 指定文化財を紹介します

約3,800年前の大形建物跡



名称 八天遺跡
 区分 国指定史跡名勝天然記念物
 種類 史跡
 指定日 昭和53年2月22日
 所在地 更木34地割

八天遺跡は、縄文時代後期(約4,400年～3,200年前)の遺跡で、北上川に面した下欠野台地の上に村や墓地が営まれました。

この遺跡で注目されたのは円形に柱穴を巡らせた大形建物跡です。大きさは最大で直径13m以上、面積100㎡以上で、柱穴は同心円状に幾重にも巡っており、同じ場所で何度も建て替えられたことが分かります。この建物跡の発見によって、八天遺跡の名前が全国に知られることになりました。周辺からは、土製の耳・鼻・口(重要文化財)や焼けた人骨などが見つかり、墓地に関連する施設であった可能性が考えられます。

現在、八天遺跡では11月30日までの予定で、遺跡の内容を確認するための調査を行っており、新たな発見が期待されています。

問い合わせ 文化財課 ☎65-0098

まちの話題

市内の話題を紹介

ウィズ with コロナ時代の避難方法を確認 北上市総合防災訓練

9/6

北上市総合防災訓練は江釣子地区で行われました。地域住民や関係者など約80人が参加。発熱者を屋内テントに隔離するなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応した避難所の運営方法を確認しました。訓練後には検証会を実施。マニュアルを改善し、避難所運営に生かしていきます。

避難者役として参加した菊池聡さん(41歳・上江釣子)は「新しい避難様式を体験できた。この経験を地域の人に伝えたい」と振り返りました。



「まず演るべ！」 民俗芸能による祈りと絆の舞

9/12
・13

「民俗芸能による祈りと絆の舞～まず演るべ！コロナに負けねぞ！」はさくらホールで2日間にわたり開催されました。コロナ禍で市内の各種行事が中止となる中、代わりとなる発表の場として北上市民俗芸能協会が主催。五穀豊穡や家内安全、感染症の早期収束を祈願し、37団体が熱のこもった舞台を披露しました。

金ヶ崎町から観覧に訪れた高橋初子さんは「お祭りはないが、このような形で素晴らしい舞台を見ることができてありがたい」と公演を楽しんでいました。

いつもと違う鬼の館を満喫 逢魔が時ナイトミュージアム

9/5

逢魔が時ナイトミュージアムは鬼の館で行われました。鬼が出没するという夕暮れの時刻「逢魔が時」に合わせて、通常の開館時間を延長して開催。エンターテイメントショーや鬼剣舞公演のほか、常設展の無料開放が行われました。

母親の高橋瑞恵さんと訪れたまゆるちゃん(2歳・相去町)は「鬼剣舞の赤いお面が一番好き」と踊り手に手を振っていました。



岩崎地区道路愛護会に感謝状 国交相表彰受賞報告

9/8

岩崎地区道路愛護会は本庁舎を訪問し、8月27日に受賞した国土交通大臣表彰の受賞を報告しました。これは8月の「道路ふれあい月間」にちなんだ表彰。同会は発足した1977年から、地区内の県道や市道、農道の清掃や草刈りなどに継続して取り組み、受賞に至りました。

報告に訪れた、村上長次会長は「先輩方の積み重ねを若い人に受け継いでいきたい」と話しました。



地域と人々をつなぐ場 古民家カフェマルシエ

9/6

3回目となるマルシエ「kobiru 小昼」は、夏油古民家カフェ小屋で行われました。昨年からの開催され、市内外の飲食店やクラフト作家などが出店する同イベント。入場時の記名やマスク着用など感染症予防策を行い、約160人が買い物などを楽しみました。訪れた加藤千賀子さん(藤沢)は「とても雰囲気がよくアットホームで居心地がいい」とにこやかに話しました。

